

序論

- マタイ10:28-33

ティム・ティーボウの中止されたスピーチと世間からの圧力：

ダニエルとその友人たち：

背景 - ダニエル3:1-30

イスラエル分裂の時代：

紀元前597年のバビロンによる征服：

ダニエル1:1-7：

紀元前586年のバビロン侵攻：

像

- ダニエル3:1-7

陰謀

- ダニエル3:8-12

ねたみに満ちた役人たちは、シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴを次のことで告発する

ダニエルが助けられた理由は

王がこの若者たちに突きつけた悪魔的な挑戦：

ユダヤ人たちは、どう見ても不可能な挑戦によって追い詰められていた：

応答

- ダニエル3:16-18

1. 神がお望みになるなら、神は私たちを救うことがおできになります。

2. 神が私たちを救おうとなさなくても、それは問題ではありません。私たちは、あなたの偶像や神々に仕えないと決心しているからです。

この返答を王にした後に何が起こったかを、章の残りの部分（19-30節）が描写している：

王は次の状態から

教訓

1.

2.

非常に多くの問題は簡単に対処できる：

誘惑が来る前に神に従うと決める：

まとめ

これらのユダヤ人たちは、王とその燃える炉の試練に立ち向かい、無傷でそこから出てきた。その理由は：

信頼と従順を貫くこと：